

平成 13 年度当初予算 基本事務事業目的評価表

[基本事務事業名] (101) 地域産業、地場産業の振興総合事業

[評価年月日] 平成 12 年 12 月 8 日

[主担当部課名] 農林水産商工部 産業政策課

[記入課名・課長名・電話] 産業政策課 課長 福井 信行 059-224-2514

1 総合計画の政策体系上の位置づけ

政策：(— 3) 技術の高度化と競争力の強化

施策：(3) 自立的企業活動への支援

総合計画の目標項目：

波及効果・副次的効果を及ぼすと考えられる施策：

2 基本事務事業を巡る環境変化(過去 現状 将来)

県内の企業は、事業革新による新たな市場を開拓したり、競争の原理による自由公正な経済活動を創出する担い手となるなど、地域経済の発展や雇用創出などに大きな役割を果たしてきた。

しかし、近年、人々の価値観が質的に変化し、市場・顧客指向の経営が求められているほか、製造業の海外進出、雇用の流動化等、我が国の産業構造は大きな転換期にある。

今後とも、顧客指向の企業の経営基盤の強化が図られ、地域経済の活性化や雇用創出を支える主体として、活発な企業活動が求められている。

とりわけ、本県の産業経済を主導してきた北勢地域を中心とした県北部を対象に 21 世紀の産業社会と地域整備のあり方について検討する必要がある。

3 基本事務事業の目的と成果

3-(1) 対象と意図(何をどういう状態にしたのか)

中小企業が地域経済に与える機能に注目し、情報収集力や市場の調査、分析力などの経営資源が不十分な中小企業の経営環境を補完することにより、独自の製品開発やサービスが提供できる競争力のある自立型企业への成長を促進するとともに、第 1 次～第 3 次までの産業融合を推進し、本県独自の戦略的な産業振興施策を展開する。そのためには、本県の経済社会のあるべき姿をしっかりと見据え、各産業分野から積極的に情報収集を行い、産業政策の方針、戦略を構築・実現していく必要がある。

また、新しい時代における産業と地域との関係に関する基本的な考え方を整理したうえで、今後の地域整備に係る基本方向を検討し、魅力ある地域整備を図る。

3-(2) 成果指標名・成果指標式(総合計画の目標項目には*を付す)

全体方針明確度・総合推進度

全体方針明確度 × 総合推進度 ((代替指標) 事務適正執行度 × 事業適正執行度)

変更した場合の成果指標名・成果指標式

該当なし

3-(3) 設定した成果指標に関する説明(指標動向に影響する要因、指標の有用性、設定の理由など)

本県産業政策の全体方針を明確にしたうえで、効率的・効果的な行政運営により、中小企業への支援、地域産業の体力強化をはじめとする各種事業の推進を図る。

3-(4) 結果(施策における2010年度の目標)

該当なし

4 基本事務事業の評価

4-(1) 前年度(H11年度)における基本事務事業の結果評価

前年度に行った内容と成果

地域産業、地場産業の振興を図り、県民の豊かな生活を支える商品やサービスの効率的な提供と地域の経済を支える中小企業の活動を支援した。

前年度に残った課題

厳しい財政状況の中、事務費の節減に努力し、効率的な行政運営を行っていく必要がある。県内産業構造の強化を図り、不況に強いものとするための産業政策の方針・戦略を構築する必要がある。

また、第1次～第3次産業を取り込んだ全産業的な戦略的振興を図る必要がある。

4-(2) 本年度(H12年度)における基本事務事業の見込み評価

本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果

第1次～第3次産業を取り込んだ全産業的な県独自の戦略的産業振興施策方針を構築し、情報収集及び提供、中小企業支援、地域産業の振興等各種事業の推進を図るように農林水産商工部内の行政運営を行っている。

本年度残ると思われる課題

今年度は、戦略的な産業振興施策方針を構築するにとどまると思われるため、来年度以降各種事業の遂行に反映させていく必要がある。

5 基本事務事業の改革方向

新しい時代における産業と地域との関係に関する基本的な考え方を整理・検討するための調査を実施する。＜企画課長＞

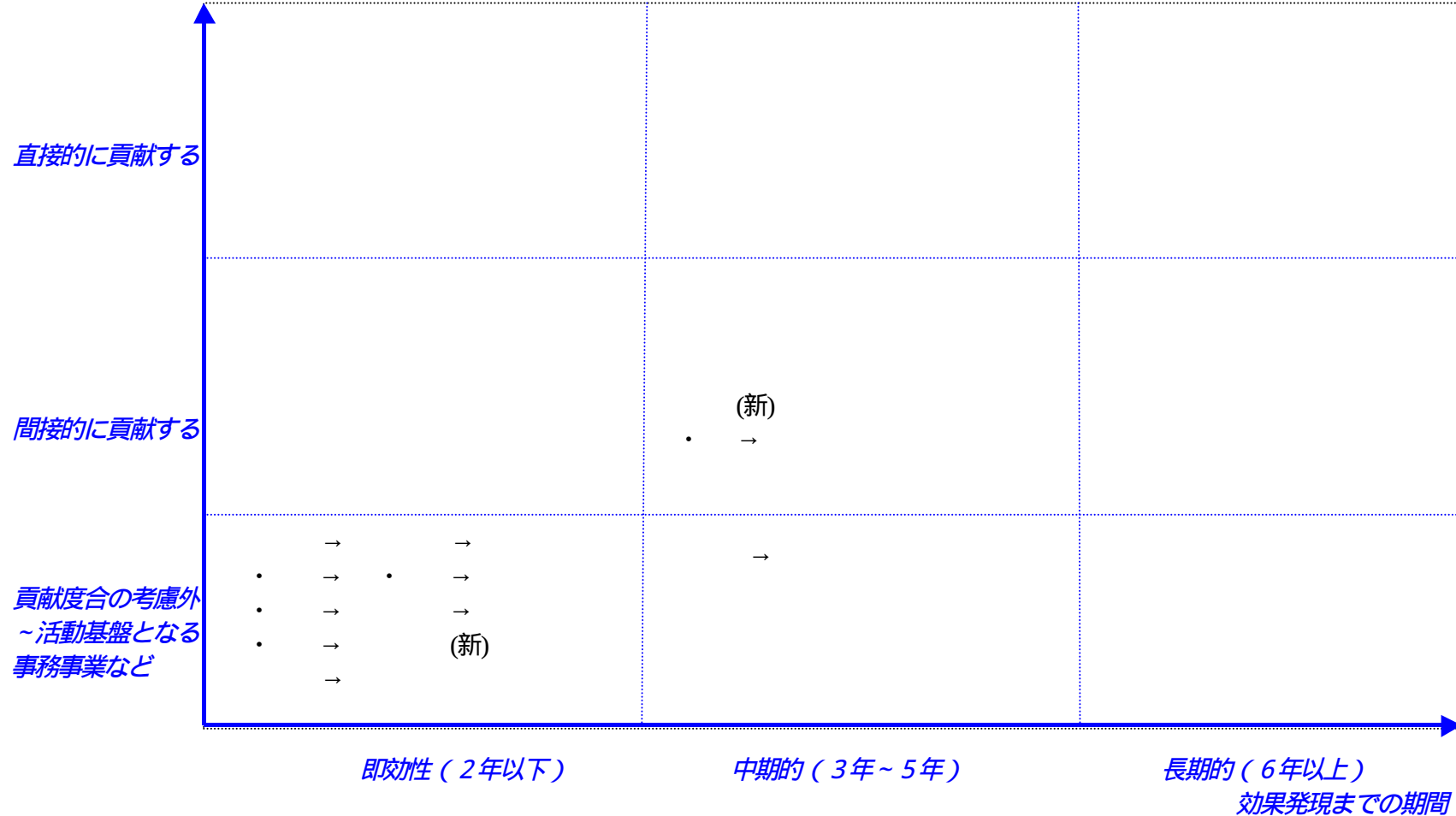
6 成果指標値及びコスト等の推移

	成果指標値		総合計画 目標数値	予算額等(千円)	必要概算 コスト(千円)
	目 標	実 績		所要時間(時間)	
前々年度 (H10年度)	1	1	-	972,320 6,255	998,467
前年度 (H11年度)	1	1	-	767,289 6,285	793,374
本年度 (H12年度)	1	1	-	821,246 8,000	854,768
本年度補正後 (H12年度)	1	1	-	+ 78,128 + 30	+ 78,254
翌年度 (H13年度)	1	――	-	926,807 8,684	963,196
計画目標年次 (H 年度)		――		――	――

7 翌年度(H13 年度)の基本事務事業における事務事業戦略プランシート(PPM: Project Portfolio Matrix)

<必要概算コスト： 5 億円以上 ~ 1 億円 ~ 5 千万 ~ 1 千万 ・ 1 千万未満 * 休止・廃止>

基本事務事業の成果向上への貢献度合



各事務事業名の右に付した矢印は、それぞれの事務事業に対する力の入れ具合である「注力」の変化の方向を表している。

8 基本事務事業を構成する事務事業の詳細

新規事務事業には、事務事業名に(新)を付す

事務事業名 (担当課)	意図の指標名	事務事業の概要	13 年度 予算額 (千円)	予算額 前年度比 (±千円)	13 年度 所要時間 (時間)	所要時間 前年度比 (±時間)
一般管理費		課内及び各県民局農林水産商工部(総務 G)の管理運営を行う。	31,179	- 13,202	700	0
農政関係団体育成負担金	農林水産行政推進 寄与度	農政関係各種団体の農林水産業に関する調査研究等の発展・充実を図るために県として負担を行う。	1,010	0	10	0
研修会参加負担金		農林水産商工部職員が行政運営をしていくための能力習得を図るため、各種研修会・会議等に参加する経費を負担する。	4,345	- 387	10	0
産業政策企画広報費		産業行政の円滑な推進を図るため、情報収集・国家予算要望を行う。また、部内の施策概要を作成・配付し広く周知させる。	5,361	+ 265	4,030	0
地域産業調整事業費		商工団体等との連絡調整、部内同和対策行政の推進指導等を行う。	12,415	- 2,759	700	0
運輸事業振興助成交付金	公共輸送の利便性の 増進度	(社)三重県トラック協会・バス協会が行う輸送力の確保・輸送サービスの改善・安全運転の推進等の各種事業に対し助成を行う。	406,375	+ 16,785	60	0
産業功労者表彰事業費	表彰自体の価値観	本県産業の振興発展に貢献し、その業績が顕著なものを表彰しその功労を称えとともに、産業界関係者の志気の高揚を図る。	1,863	- 457	240	0
中小企業振興基金積立金		地域経済に対して重要な役割を担っている中小企業の振興を図る。	299,879	- 55,064	20	0
経済戦略推進事業費		経済戦略会議における意見・提言の実現及び産業施策全般の企画立案にあたり、指導・助言を得るため特別顧問を設置する。	3,110	- 890	504	- 1,726
産業支援センター管理費 補助金		(財)三重県産業支援センターの管理運営事業経費の一部(人件費・建物使用料)を補助する。	132,688	+ 67,119	30	+ 30
元気のでるでる三重 の生活産業展事業費 (新)		県民の日の趣旨にちなみ、地域の経済や活力に貢献し、広く県民の健康や楽しさを支えている産業や企業と共に健康や楽しさ、便利さなど日常生活と産業のかかわりを改めて見直す機会となるイベントを開催する。	18,500	+ 18,500	400	+ 400

基本事務事業名： 地域産業、地場産業の振興総合事業

5/ 6

21 世紀の産業社会 と地域整備のあり方 に関する調査事業(新)	21 世紀の産業社会と地域整備のあり方についての課題整理	北勢地域を中心とした県北部を対象として、21 世紀の産業社会と地域整備のあり方に関する検討を行う。	10,082	+ 10,082	1,980	+ 1,980
--	------------------------------	---	--------	----------	-------	---------

～ までの担当課 → 産業政策課
→ 企画課